

初めて万葉苑のボランティアに参加しました。お年寄りの方とたくさんふれ合えたし、誰かのために何かをすることのすばらしさが分かりました。

最後にお年寄りの方と握手をしたとき、笑顔でニコニコと笑いながら握手してくださったので、とてもうれしく思いました。

来年もぜひ万葉苑のボランティアに参加したいと思いをしました。

(作道小 5年 長徳 美希)

大人の方には、部屋に入ってくる人に、ふとんのシーツがしばってあるところが見えないような向きにすることや枕カバーは枕が入っていない部分は中にしっかり折り込むことなどのコツを教えていただきました。

シーツ交換の後はぞうきんで窓ふきをしました。すみの方のよごれがとれたのでよかったです。

お年寄りとの交流では、一人ずつ「こんにちは。」と言ったり、しっかり握手をしたりできました。楽しかったです。

(作道小 5年 石黒 杏奈)



はじめはシーツ交換などとても難しい作業だなと思ったけど、大人のボランティアの方々から教えてくださったことや、ボランティアをして喜んでおられるお年寄りの方々のことを思うと、難しそうな作業でも気持ちを込めて頑張る作業することができました。今回初めて老人ホーム訪問のボランティアに参加しましたが、活動を終えてお年寄りの方々と握手をしているととてもすがすがしい気持ちになりました。また是非ボランティアを試みたいと思います。

(3年 宮崎 翼)

まずボランティアの前にした自己紹介でしっかりと声を出すことや挨拶することの大切さについて教えていただきました。全員が初めて会う人で恥ずかしがったり話さずらかったりして、声が小さかったことを注意していただきました。人とのコミュニケーションがとれないと、ボランティアが進まないの、声をしっかりと出すように心がけました。班のみんなと助け合いながら声をかけ合いながら活動することができました。

(3年 松波 弥来)

今年は班長として頑張りました。班長は初めてなので緊張もしましたが、同じ班の子たちが率先して行動してくれてすごく助かりました。ボランティア活動をして汗をかいたりとてもたいへんな作業だと思いました。私たちが、不自由な生活が送れているのも、ボランティアの方のように誰かが頑張っているからなんだとあらためて思いました。これからは周りの人に感謝し、いろいろなことに頑張りたいと思いました。今日この一日でいろいろなことを学ぶことができました。来年も参加し、人を笑顔にしていきたいと思いをします。

(2年 山住 令奈)

今回はじめて参加し、あらためてボランティアの良さを感じました。シーツ交換ではシワ一つないように気をつかいましたが、利用者のおじいさんやおばあさんの笑顔やありがとうの言葉を聞くと頑張るよかったです。お年寄りの方との交流では、笑顔で話しかけてくれる方やずっと手を握ってくれる方などいろいろな方がおられました。中には手を差し伸べてくださったり、いろいろ質問してくださったりする方もおられました。どの方も柔らかなあたたかな手で自然と笑顔になりました。なぜボランティアを続けておられる理由がわかりました。

(3年 小杉 愛華)

このようなボランティアの機会がたくさんあったら、地域の方がと関わりが増えていいなと思いをしました。これからも地域の方と助け合うかもしれません。その意味でも地域の方々と関わりを持つことは大変大切なことだと思いをします。また、シーツ交換をすることでおじいさんやおばあさんとのつながりをもつことができました。ぜひ、これからもこのような活動に取り組んでいきたいと思いをします。

(1年 小竹 四季)

